

日本における女性科学者の活躍

一般社団法人 日本女性科学者の会

日本女性科学者の会では、医学・薬学・理学・工学・農学などの広い分野で活躍している日本の女性科学者を皆様にご紹介し、皆様のキャリア相談にのります。未来を拓くのはあなたです。進路決定にお悩みの方、医薬系から農理工系まで、多分野の先輩がお待ちしています。

日本女性科学者の会について

The Society of Japanese Women Scientists (SJWS)

- 1958年4月に前身である**日本婦人科学者の会**が「女性科学者の友好を深め、研究分野の知識の交換を図り、女性科学者の地位の向上を目指すと共に、世界の平和に貢献すること」を目的として設立された。
- 1996年6月**日本女性科学者の会(SJWS)**と改名した。
- 2020年現在、会員数は約270名、会員は**理学、工学、医学、薬学、農学等**を専攻する大学、研究機関などに所属する研究者および企業の研究者・技術者など多岐に渡り、**幅広い科学・技術分野をカバー**している。男性研究者・技術者の参加もある。日本学術会議協力団体であり、北海道・東北ブロック、関東ブロック、東海・中部・北陸ブロック、関西ブロック、中国・四国・九州・沖縄ブロックでの活動を行っている。

SJWSは女性研究者・科学者を応援しています

SJWSの活動 I

- 自然科学分野の第一線で活躍している会員、非会員の講演会
- 子供向けの理科教室・女子中高生夏の学校での実験指導
- 海外の著名な女性科学者招待講演会
- 女性科学者・研究者の地位に関するシンポジウムや交流懇親会
- 学術大会（研究者の発表・講演会・パネル討論会）
- 日本女性科学者の会学術誌の刊行(年1回) 2011年より電子化
日本女性科学者の会NEWSの発行(年2回)
- 男女共同参画学協会連絡会に加盟し、科学・技術の分野で女性と男性が共に個性と能力を発揮できる環境づくりなど社会貢献を目指して活動
- SJWSサイエンスコミュニケーター認証制度を発足(2007年)
- 内閣府「男女の仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進事業」公開シンポジウムを主催(2008年)
- 内閣府「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」2013年度福島、2014年度名古屋、2015年度佐世保、と連続採択

SJWSは女性研究者・科学者を応援しています

SJWSの活動 II

■日本女性科学者の会 奨励賞

自然科学分野で研究業績をあげ、将来性を期待できる者でありかつ本会の目的に賛同し、その達成のために努力していると認められる本会会員に対し、年齢、国籍、性別は問わず、年1～3名以内に奨励賞を贈呈する。1996年以来、49名が受賞。

■日本女性科学者の会 功労賞

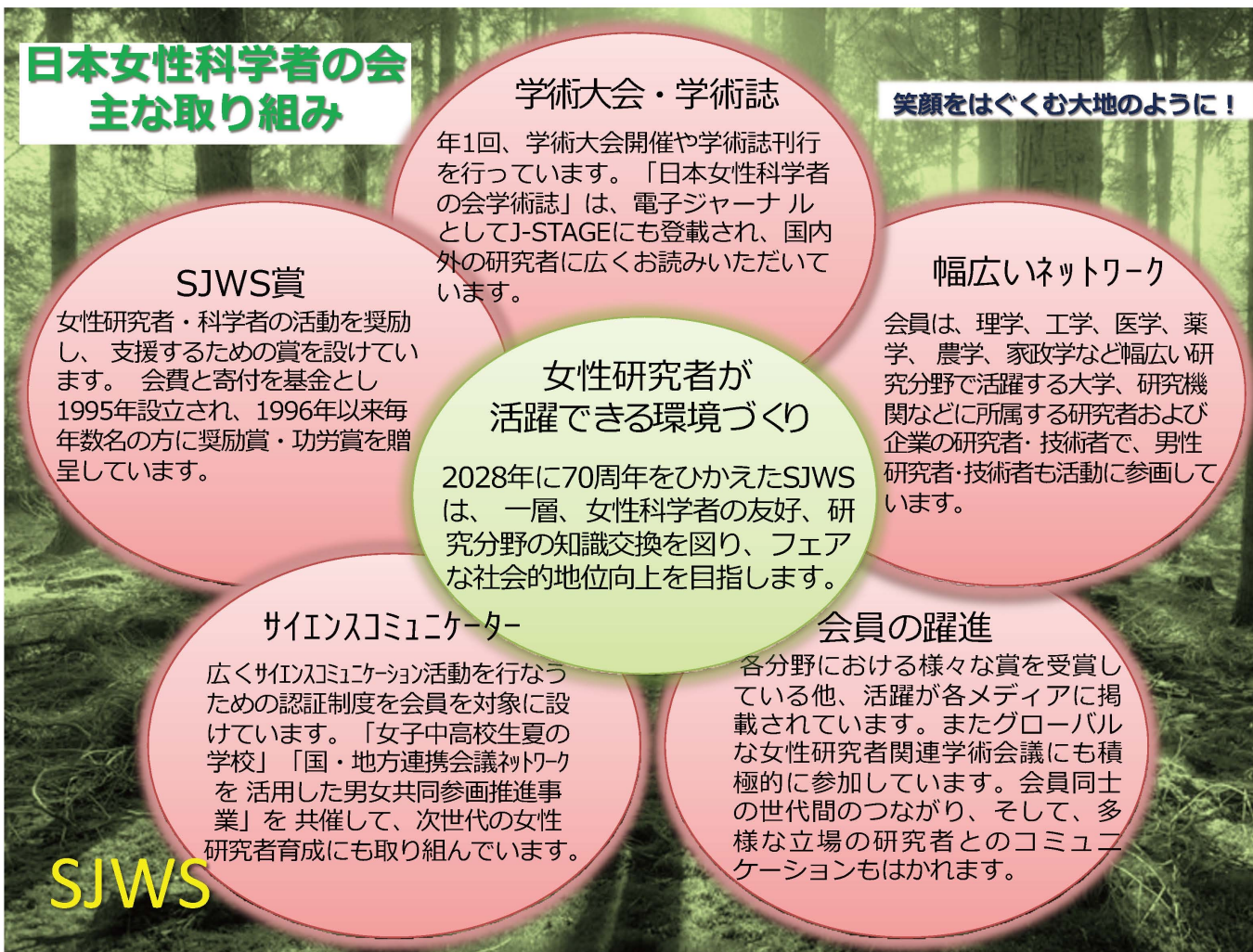
日本女性科学者の研究推進や地位向上に寄与した者(非会員可)、あるいは会のため尽力し顕著な功績のあった会員を対象とし、賞状と記念品を贈呈する。

1996年6月以来、44名（内男性2名）が受賞。

第12回(2018年)学術大会&創立60周年記念講演会



SJWSは女性研究者・科学者を応援しています



理系の進路紹介



一般社団法人

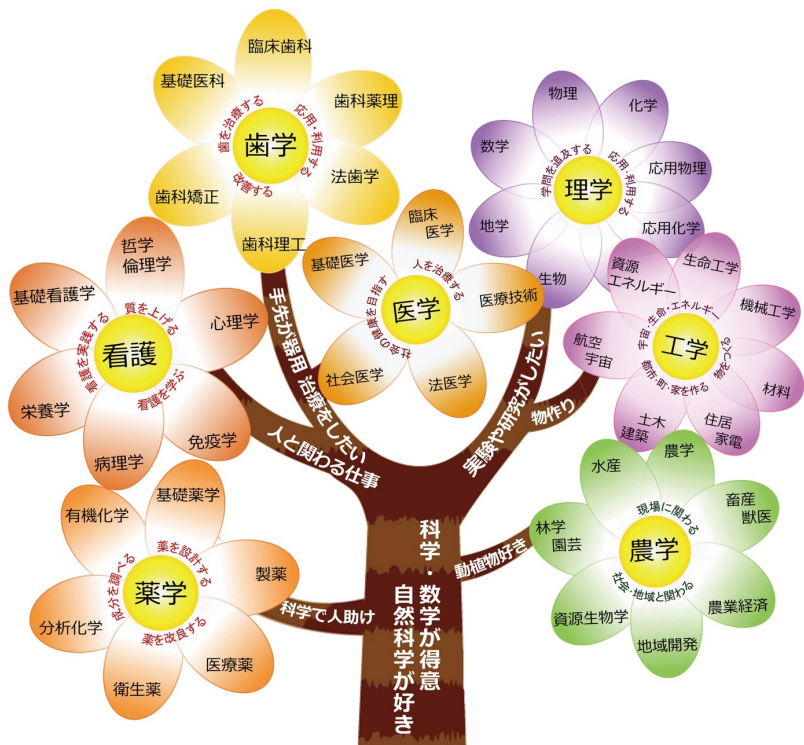
日本女性科学者の会

The Society of Japanese Women Scientists (SJWS)

SJWS会員の専門分野

1958年4月、日本婦人科学者の会が女性科学者の友好を深め、研究分野の知識の交換を図り、女性科学者の地位の向上を目指すと共に、世界の平和に貢献することを目的として設立され、1996年に日本女性科学者の会(SJWS)と改名された。

発足の経緯から、会員は理学、工学、医学、薬学、農学等を専攻する大学、研究機関などに所属する研究者および企業の研究者・技術者など多岐の分野と業界に渡り、幅広い科学・技術分野をカバーしている。



**SJWSは女性研究者
科学者を応援しています**

SJWS事務局 〒226-8501 神奈川県横浜市緑区長津田町4259 B-60 東京工業大学 生命理工学院 近藤研究室内
E-mail: sjws-office@sjws.info Tel & Fax : 045-924-5800 URL: http://www.sjws.info/

SJWSは**未来の**女性研究者・ 科学者を応援しています



多様な分野の先輩女性が、みなさんの将来のご相談をお受けします。



日本女性科学者の会



科学・技術・人との出会い
女子中高生 夏の学校

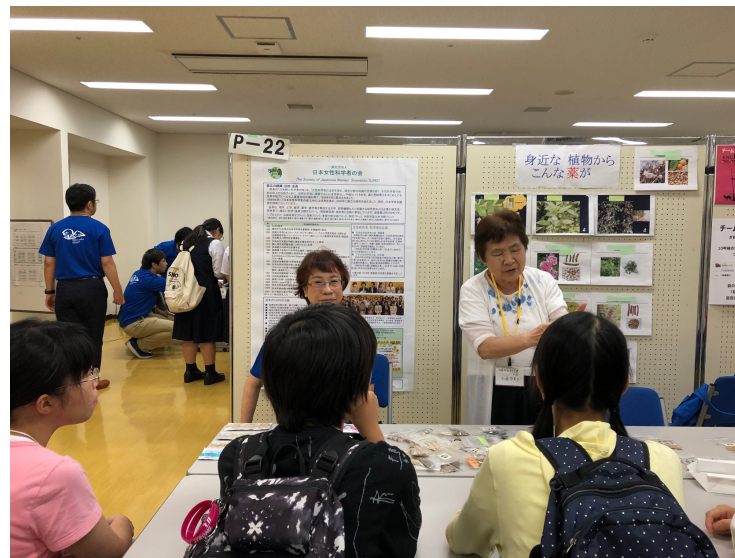
オンライン

SJWSは**未来の**女性研究者・科学者を応援しています

毎年、女子中高生夏の学校の企画実行、および実験・実習とポスター・キャリア相談に参加しています。



実験・実習



ポスター・キャリア相談

ロールモデルの紹介

服部 梓(Azusa N. HATTORI) 理学博士
大阪大学 産業科学研究所 准教授

阪大産研3次元ナノ構造科学研究分野のリーダーで私たちの暮らしに欠かせない**パソコン**、**電化製品**の心臓部となる**材料の開発**をしています。



小さい頃から新しいこと、不思議なことが大好きで、実験や研究をする仕事がしたいと大学では工学部に入学しました。生き物のお世話が得意じゃないという理由もありましたが、目に見える身近ものより、物質の奥に潜む未知の世界に興味があって、医学、生物ではなく、物質科学を選びました。

研究に大事なことは、「素直さ」と、「楽しもうというポジティブな気持ち」だと思います。私はかわいいものやきれいな物が大好きですが、面白いもので、きれいな形の材料はよい性質を示すことが多いです。これからも、美と機能を兼ね備えた、野心的な材料開発に取り組んでいきます。

服部先生からのメッセージ

皆さんの譲れないものは何ですか？

コロナ禍によって、これまでの生活様式や価値観が当たり前ではないと気付いた人も多いでしょうが、正解は一つ、ではありません。

自分のユニークさを自らの価値として発信し、状況に応じて一番良い答えを探しながら未来を切り拓いていくことが求められていくでしょう。

プライベートを犠牲にしても仕事を優先する、なんて時代錯誤もいいところです。私は大好きな家族(夫、長男、長女、ハムスター)との毎日の時間をとても大事にして、これが研究の活力や解決へのアイデアになっています。

理工系の学部の女子学生の割合はまだ少ないですが、女性が安心して勉強や研究に取り組めるように環境も整備されています。性別にかかわらず、まっすぐに興味ある分野に進んでください。

魅力的な研究との出会いが、あなたの可能性をぐんと広げてくれるはずです。

